

事業概要

第9号

平成18年度



富山県中央植物園

目次

平成 18 年度 事業概要

目次.....	1
I 庶務	
1. 沿革.....	2
2. 整備概要.....	2
3. 利用案内.....	3
4. 組織.....	4
5. 招聘客員研究員.....	5
6. 講師等派遣.....	5
7. 委員等.....	6
8. 研修生等の受入.....	6
9. 視察研修等受入.....	7
10. 行政バス.....	7
II 植物管理事業	
1. 収集植物現況.....	8
2. 新規導入植物.....	9
3. 分譲植物.....	9
III 教育普及事業	
1. 催事記録.....	11
2. 印刷・出版.....	14
3. 新聞・雑誌等への寄稿.....	15
4. 新聞記事.....	15
5. 北陸中日新聞動物園植物園レポート.....	15
6. 取材対応.....	16
7. リファレンス(質問対応)状況.....	16
8. 同定依頼.....	16
9. 写真の提供.....	16
IV 資料収集事業	
1. 標本資料現況.....	17
2. 文献資料現況.....	17
3. 植物画資料.....	17
V 調査研究事業	
1. 研究体制.....	18
2. 研究課題.....	18
3. 研究報告 12 号.....	18
4. 平成 18 年度研究発表.....	19
5. 著書・論文・学会発表等.....	19

VI 友の会・ボランティアの活動

1. 事業.....	22
2. 部会の活動.....	22
3. 会員数.....	23

VII 参考資料

1. 施設概要.....	24
2. 施設平面図.....	25
3. 整備事業費.....	26
4. 利用統計.....	27
5. 例規.....	29
6. 愛称とシンボルマーク.....	32

I 庶務

1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月1日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年10月には中国雲南省から導入した植物を育成・展示するための「雲南温室」の建設が始まり、平成12年2月18日に完成、一般公開された。平成14年9月10日には憩いの場や学習の場として多目的に利用可能なドリアスホールの建設に着工し、平成15年3月14日に完成した。

2. 整備概要

昭和58年4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成2年3月	富山県中央植物園設計競技
平成2年8月	基本設計
平成3年5月	造成工事起工式
平成5年10月	開園(屋外展示園公開)
平成7年9月	建築工事定礎式
平成8年4月	全面開園(展示温室公開)
平成8年5月	中国科学院昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工
平成12年2月	雲南温室完成
平成12年10月	中国科学院昆明植物研究所と共同研究に関する合意書調印
平成13年4月	開園後の入園者50万人達成
平成14年9月	ドリアスホール(多目的小ホール)着工
平成15年3月	ドリアスホール完成

(1) 所在地 富山県富山市婦中町上轡田 42

(2) 敷地面積 24.5 ha

(3) 主要施設

・管理研修棟	1棟	1,310㎡
・展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室、雲南温室)	5棟	2,713㎡
・栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)	5棟	1,077㎡
・サンライトホール・エネルギー棟	1棟	1,614㎡
・ドリアスホール	1棟	155㎡

(4) 展示植物 約4,700種類、87,000本(株) (※種類数は重複分を除いた数)

・屋外展示園	約2,286種類
・展示温室内	約1,245種類
・栽培温室・圃場	約3,000種類

(5) 整備期間および事業費

期間	整備内容	事業費	備考
平成元年～7年度	施設整備、植栽等	9,242	地域総合整備事業債 (ふるさとづくり事業)
平成10年～11年度	雲南温室	204	ふるさと環境整備事業
平成14年度	多目的小ホール(ドリアスホール)	40	木材産業経営革新公共施設 等整備事業

単位：百万円

3. 利用案内(平成18年4月1日現在)

- (1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
 冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで
- (2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合は開園)、および12月28日～1月4日
- (3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人	600円	480円
小人(高校生以下)	無料	—

● 入園料等取扱要領(全額免除) 平成5年9月制定、平成14年3月28日改正、平成17年4月1日改正

- ① 幼稚園、小中高校等の引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ② 児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者並びにこれらの引率者が入園するとき。
- ③ 身体障害者手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ④ 療育手帳を所持する者及びその付添者が入園するとき。
- ⑤ 精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその付添者が入園するとき。
- ⑥ サクラ観賞日に入園するとき。

(4) 交通機関

● バス利用

- ・富山地铁バス
- JR富山駅：6番乗場
- ファボーレ経由萩の島循環線
- 中央植物園口停留所下車、徒歩約12分

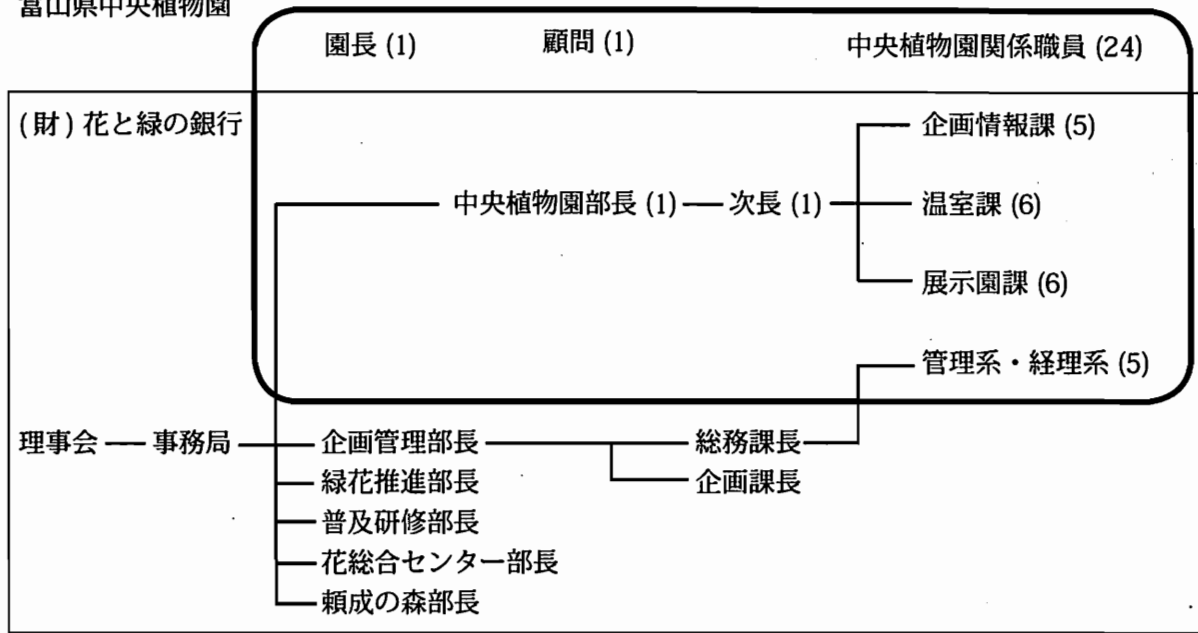
● 自動車利用

- ・富山市中心部より約15分
- ・北陸自動車道富山インターより
 婦中大橋経由約15分
- ・JR速星駅より約8分

4. 組織

(1) 組織図

富山県中央植物園



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	内村悦三
顧問	黒川 道

(財) 花と緑の銀行 中央植物園部

部長 (温室課長兼務)	加藤治好	県派遣職員 (主幹)
次長 (展示園課長兼務)	柳原正紀	県派遣職員 (主幹)
企画情報課 課長	中田政司	県派遣職員 (副主幹研究員)
主任研究員	神戸敏成	県派遣職員 (主任研究員)
主任	吉田めぐみ	
主任	大原隆明	
主任	志内利明	
温室課 副主幹研究員	大宮 徹	県派遣職員 (副主幹研究員)
主任	橋屋 誠	
主任	兼本 正	
技師	石黒裕崇	県派遣職員
業務技師	栗林信夫	
展示園課 主任研究員	山下寿之	県派遣職員 (主任研究員)
主任	高橋一臣	
専門員	大森 博	
業務技師	桐林浩二	
業務技師	浅野 豊	

(財) 花と緑の銀行 企画管理部

総務課 主事	恒川利一
(一部) 嘱託	澤井光恵
嘱託	高木真由美
嘱託	武田尚子

5. 平成 18 年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
只木良也	プレック研究所生態研究センターセンター長	森林生態学	18.11.15-16
勝山輝男	神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員	自然史博物館における 植物の研究・教育・展示	18.12.12-13
長澤栄史	菌蕈研究所上席主任研究員	菌類の分類と生態	19.1.23-24

6. 平成 18 年度講師等派遣

年月日	氏名	内容(依頼者)
18.4.21	中田政司	福光長寿大学園芸講座(南砺市教育委員会)
5.6	兼本 正	平成 18 年度県民緑化オープン講座「キッチンガーデン講習」 (富山県花総合センター)
5.19	中田政司	福光長寿大学園芸講座(南砺市教育委員会)
6.7	内村悦三	竹を学ぶータケの特徴を知るー(富山大学附属小学校 総合学習)
6.8	内村悦三	竹を学ぶー竹を利用するー(富山大学附属小学校 総合学習)
7.10	中田政司	石黒長寿大学(南砺市教育委員会)
7.13	山下寿之	市民大学「里山の植生」(富山市教育委員会)
7.14-17	高橋一臣	友の会「瀋陽園芸博ツアー」(中央植物園友の会)
7.22	中田政司	ジュニアナチュラルリスト養成講座(富山県生活環境部自然保護課)
9.3	橋屋 誠	キノコを通して森を見る((財)富山市ファミリーパーク公社)
9.20	内村悦三	タケ科植物の生態特性と利用 1. 生態(山梨県身延高校 SPP 授業)
9.21	内村悦三	タケ科植物の生態特性と利用 2. 利用と実習(山梨県身延高校 SPP 授業)
9.24	山下寿之	第 3 回ナチュラルリスト研修会(とよま環境財団)
10.8	橋屋 誠	キノコ観察と観賞会(県民公園頼成の森)
10.10	内村悦三	タケと竹について(国際協力機構)
10.15	橋屋 誠	きのこ観察会(福井県朝日町立福井総合植物園)
10.19	橋屋 誠	氷見市海浜植物園「キノコ観察会」((財)氷見市海とみどりの協会)
10.20	内村悦三	タケ林の管理体験(富山大学附属小学校 総合学習)
10.22	橋屋 誠	野外観察会「きのこを通して森を見る」(中央植物園友の会)
10.24	大原隆明	城端ナチュラルリスト研修会「旧城端町のサクラについて」 (城端ナチュラルリスト研究会)
11.2	大原隆明	富山大学非常勤講師 総合科目特殊講義「地域と人間」(富山大学長)
11.11	浅野 豊	平成 18 年度県民緑化オープン講座「庭木の手入れー剪定・雪囲い」 (富山県花総合センター)
11.15	浅野 豊	グリーンキーパー研修「樹木に関する基礎知識」(富山県花総合センター)
12.15	内村悦三	エコプロダクツ 2006 竹の有効活用を考えるセミナー講演 「竹の有効利用で持続的社会的構築を考える」(日本経済新聞社)
12.21	加藤治好	富山県博物館協会自然史系分科会研修会「指定管理者制度について」 (富山県博物館協会)
19.1.13	大原隆明	富山さくら守の会研修会「富山県内の冬咲きのサクラについて」 (富山さくら守の会)
2.3	内村悦三	全国水仙サミット基調講演「植物と人とのかわり考える」(福井市役所)
2.17	吉田めぐみ	「親子でチャレンジ! おもしろ体験教室」(射水市立片口小学校)
	・志内利明	
2.22	大原隆明	南砺市市民大学「富山の桜、南砺の桜」(南砺市教育委員会)
3.16	内村悦三	中国四国地域バイオマス利活用セミナー基調講演 「竹のバイオマスとその有効利用」(中国四国地域バイオマス関係機関連絡会議)
19.3.18	大原隆明	黒部の桜を語る会(黒部の桜を語る会実行委員会)
19.3.19	大原隆明	わんぱく自然教室(南砺市井波総合文化センター)

7. 平成 18 年度委員等

氏名	内容	依頼者
内村悦三	日本植物園協会評議員（平成 15 年度～）	（社）日本植物園協会
内村悦三	日本植物園協会研究発表委員（平成 15 年度～）	（社）日本植物園協会
内村悦三	地球環境 100 人委員会委員（平成 15 年度～）	地域環境関西フォーラム
内村悦三	竹文化振興協会 常任理事（平成 15 年度～）	竹文化振興協会
内村悦三	京都竹文化振興財団 理事（平成 15 年度～）	（財）京都竹文化振興財団
内村悦三	日本竹協会 副会長（平成 15 年度～）	日本竹協会（会長）
内村悦三	竹資源活用フォーラム 会長（平成 15 年度～）	竹資源活用フォーラム（会長）
内村悦三	日本林業同友会 技術参与（平成 15 年度～）	日本林業同友会
内村悦三	Journal of Bamboo and Rattan 編集委員（平成 15 年度～）	国際機関 INBAR（在北京）
内村悦三	Bamboo Journal 編集委員長（平成 15 年度～）	竹文化振興協会
内村悦三	富山市バイオセミナー等委員会委員（平成 16 年度～）	富山市商工労働部
内村悦三	富山市緑化審議会 会長（平成 17 年度～）	富山市建設部
内村悦三	（財）花と緑の銀行理事（平成 15 年度～）	（財）花と緑の銀行
黒川 道	国立科学博物館筑波研究資料センター筑波実験植物園運営委員会運営委員	独立行政法人国立科学博物館
黒川 道	（財）服部植物研究所評議員	（財）服部植物研究所
中田政司	植物地理・分類学会編集委員	植物地理・分類学会
中田政司	ナショナルバイオリソースプロジェクト「広義キク属」運営委員会委員	広島大学
中田政司	富山市文化財調査審議会委員	
神戸敏成	絶滅危惧植物対策委員会委員	（社）日本植物園協会
兼本 正	植物地理・分類学会監査委員	植物地理・分類学会

8. 平成 18 年度研修生等の受入

(1) 平成 18 年度博物館実習生

氏名	所属	期間
富崎明子	富山大学生物圏環境科学科	7 月 30 日～8 月 9 日
中井真理子	富山大学生物圏環境科学科	7 月 30 日～8 月 9 日
前田綾子	富山大学生物学科	7 月 30 日～8 月 9 日
森川千愛	近畿大学農学部	8 月 13 日～17 日

(2) 平成 18 年度 11 年次教員研修会受講者（平成 18 年 9 月 6 日～8 日）

氏名	所属
草野桂子	黒部市立宇奈月小学校
江田 希	富山市立神保小学校
岩上育代	富山県立富山北部高等学校
清水法子	富山県立高岡養護学校
石井洋子	富山県立となみ養護学校

(3) 平成 18 年度「社会に学ぶ 14 才の挑戦」受入（平成 18 年 10 月 2 日～6 日）

氏名	学校名
小林 健、村井友美	富山市立城山中学校
水和 薫、中井一希	富山市立速星中学校

(4) 高校生の就業体験の受け入れ（平成 18 年 7 月 26 日～8 月 3 日）

金田健正、此口勇志 富山県立中央農業高等学校

(5) 富山市適応障害児指導

植物の栽培指導など、植物園内にて年間 40 回実施。

(6) 富山県立大学「大学院生学外研究」の受け入れ

宮崎絢子 平成 18 年 5 月 17 日～平成 19 年 2 月 28 日

9. 平成 18 年度視察研修等受入

年月日	視察研修者 (人数)
18.4.21	富山老人保健施設 (2)
4.25	長岡小学校 (3)
4.25	黒部市保健センター (2)
4.30	富山市立堀川南小学校 (1)
5.1	富山老人保健施設 (1)
5.7	長岡保育所 (2)
5.10	花と緑の銀行グリーンキーパー (29)
5.17	花と緑の銀行グリーンキーパー (29)
5.31	花と緑の銀行グリーンキーパー (29)
5.13	富山大学理学部 (22)
5.22	富山市立奥田小学校 (3)
5.23	国際職藝学院 (55)
5.30	富山県立中央農業高等学校 (14)
6.2	清幸会 島田病院 (2)
6.11	名鉄観光 (2)
6.20	富山市民大学 (2)
6.23	県国際・日本海政策課 (8)
6.25	ケアプラザたんぼぼ北の森 (2)
6.27	富山県農林水産部森林政策課 (18)
6.30	日中農業技術者交流事業 (9)
7.5	花と緑の銀行グリーンキーパー (56)
7.15	高岡市民歩こう会 (3)
7.19	砺波厚生センター (2)
7.23	徳成老人会 (2)
8.2	高岡市中文連科学部部門 (1)
8.2	富山大学理学部生物圏環境科学科 (25)
8.4	富山県農林水産部森林政策課 (19)
8.20	富山市立山室中部小学校 (4)
8.21	上市中央小学校 (1)
8.22	高岡市立こまどり養護学校 (2)
8.23	富山市小学校第 5 区域研究部会 (28)
8.27	県生協デイサービスセンターまる～ (1)
8.28	富山国際大学地域学部 (3)
8.29	千葉大学園芸学部 (1)
9.1	富山カワイ幼稚園 (3)

9.3	シルバーケア羽根苑 (1)
9.4	立山町立利田小学校 (2)
9.5	クリス音楽院ちゃいるどルーム (3)
9.8	高岡市きずな学園 (2)
9.10	ボーイスカウト富山地区 (11)
9.13	富山県農林水産部森林政策課 (44)
9.20	富山市立光陽小学校 (2)
9.22	ケアプラザたんぼぼ北の森 (2)
9.25	富山市立上条小学校 (1)
10.4	富山市立山室中部小学校 (3)
10.4	ひかり保育園 (3)
10.6	大阪府立大学大学院 (1)
10.24	ツアーシステム(株) (2)
11.25	日本ボーイスカウト高岡第 2 6 団 (2)
12.12	職藝学院 (10)
12.26	(財) 富山県木材産業振興会 (2)
19.1.14	富山市立奥田小学校 (1)
2.5	とやま自遊館 (1)
2.10	石川勤労者医療協会 城北病院青葉会 (4)
2.18	富山県蘭協会 (44)
2.20	富山県 I T センター (1)
2.23	みんなのパソコン教室 (1)
2.26	戸出地区花と緑の推進協議会 (18)
2.28	富山いすゞ自動車株式会社 (1)
3.2-4	花と緑のフェスティバル実行委員会 (42)
3.2	富山県パーキンソン病友の会 (3)
3.4	日本ハンニングバスケット協会 (3)
3.9	介護老人保健施設 みわ苑 (2)
3.18	特別養護老人ホーム敬寿苑 (2)
3.28	とやま自遊館 (2)
3.28	熊本大学薬用植物園 (2)
3.4	福井県総合グリーンセンター (4)
3.7	小矢部 FM (4)
3.13	富山県林業カレッジ (7)
3.29	林業試験場 (4)

10. 平成 18 年度行政バス

(1) 県政バス

年月日	内容	人数
18.6.27	植物園の裏方体験	18
10.25	木とのふれあいコース (魚津)	11

(2) 富山市民バス

年月日	内容	人数
18.7.3	三郷公民館	45
7.28	大庄公民館	50
9.26	西田地方公民館	36
10.11	八人町地区ふるさとづくり推進協議会	40

II 植物管理事業

1. 収集植物現況 (平成 18 年 10 月 1 日現在)

(1) 展示温室

展示温室区画	代表的な植物	種類数	個体数
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、キョチク	450	1,500
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	238	2,200
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	183	1,300
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	289	900
雲南温室	トウツバキ、カンレンボク	85	200
計		1,245	6,100

(2) 屋外展示園

屋外展示園区分	区画エリア	種類数	個体数
世界の植物ゾーン		1,284	32,890
	ツツジ・シャクナゲ園、ボタン・シャクヤク園、香りの植物、繊維の植物、染めの植物、芝生広場、サクラ・ウメ園、花のプロムナード、クレマチス園、球根植物、雲南の植物、北米東部の植物、温室周辺、話題の植物		
日本の植物ゾーン		1,002	24,810
	シイ・カシの森、クリ・コナラの森、ミズナラ・ブナの森、沼沢・溪谷の植物、低地草原、山地草原、湿地の植物、ロッケリー、河原の植物、海岸の植物		
計		1,954	55,410

(3) 管理区域および園全体

屋外展示園区分	区画エリア	種類数	個体数
管理区域		3,100	32,400
	栽培温室、栽培圃場、駐車場、入口広場他		
植物園全体 (種類数は各エリア間での重複を除いた数)		4,700	87,000

(4) 屋外展示園で多くの品種を収集した植物

品種区分	代表的な品種	種類数	個体数
サクラ類	ソメイヨシノ、ウコン、ヤエベニシダレ	95	377
ウメ類	紅冬至、稲積、鹿児島紅	51	128
モモ類	寒緋桃、菊桃、源平枝垂	18	65
ボタン類	酒酔楊貴、島錦、冬至紅	79	267
シャクヤク類	美菊、花香殿、ポール・オブ・ビューティー	36	171
クレマチス類	カザグルマ、テッセン	220	238

2. 平成 18 年度新規導入植物

(1) 個人、機関からの寄贈

年月日	寄贈者	導入植物
18.5.1	増田恭次郎 (富山大学理学部)	クジャクサボテン 7 株
5.17	下澤産業株式会社	モンキーパズルツリー 1 株
6.22	佐脇光良	キタダケソウ 5 株
6.26	神奈川県立フラワーセンター大船植物園	センノウ 若干
12.3	増田恭次郎 (富山大学理学部)	セコイアオスギ 3 株
12.18	高杉重雄	キク (花色キメラ) 1 株
19.2.10	坂田弘文	ヤマグルマ 2 株

(2) 18 年度植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
19.3.15	高知県立牧野植物園	オオツワブキ 苗 1 株
3.30	京都府立植物園	リンドウ 種子若干量
4.1	新潟県立植物園	オキナグサ 苗 3 株
4.17	名古屋市立東山植物園	カシワバハグマ 種子若干量

(3) 種子交換による導入

年月日	植物園 (国名)	導入植物
18.1.27	ベルベデーレ高山植物園 (オーストリア)	<i>Arum alpinum</i> など 25 種
2.6	ベルリンフンボルト大学植物園 (ドイツ)	<i>Ilex aquifolium</i> など 13 種
2.24	ブリティッシュ・コロンビア大学植物園 (カナダ)	<i>Baccharis</i> sp. など 10 種
3.5	ブザンソン大学植物園 (フランス)	<i>Eupatorium cannabinum</i> など 14 種
4.7	ターリン植物園 (エストニア)	<i>Acer spicatum</i> など 30 種
4.10	コメンスキー大学植物園 (スロバキア)	<i>Fargesia nitida</i> など 6 種
4.18	ゲーテ大学植物園 (ドイツ)	<i>Allium aflatunense</i> など 23 種
4.24	ロシア科学アカデミー極東支部植物園 (ロシア)	<i>Sanicula rubriflora</i> など 34 種
5.5	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園 (ハンガリー)	<i>Leucanthemella serotina</i> など 45 種
5.14	日本大学薬学部薬用植物園	ハナスゲなど 6 種
5.26	台北植物園 (台湾)	<i>Acer morrisonense</i> など 21 種
6.16	ロシア科学アカデミーヤクーツク支部植物園 (ロシア)	<i>Berberis canadensis</i> など 25 種
8.18	コペンハーゲン大学植物園 (デンマーク)	<i>Nothoscordum gracile</i> など 27 種

(4) 自生地採集による導入

年月日	採集地	導入植物
18.6.26	南砺市千束ふれあいの森林道工事予定地	ヤマソテツ、ミネカエデなど (苗) 8 種 42 株

3. 平成 18 年度分譲植物 (植物体の部分を含む)

(1) 個人、機関への分譲

年月日	分譲先	分譲植物	数量	使用目的
18.4.28	藤野廣春 (富山大学薬学部付属薬用植物園)	ミロバラ	若干	研究用
6.17	國武久登 (宮崎大学農学部)	ナツハゼ、アクシバ	若干 (葉片)	研究用
5.24	岩坪美兼 (富山大学理学部)	ウメ (44 品種)	若干 (枝先)	研究用
6.28	坂井奈緒子 (富山市科学文化センター)	クワ、クマイチゴ	若干 (果実)	展示用
7.27	藤野廣春 (富山大学薬学部付属薬用植物園)	ミロバラ	若干	展示用
10.23	Gong Xun (中国科学院昆明植物研究所)	ドウダンツツジなど	若干	研究用
12.1	山口晴司 (富山大学理学部化学科)	クスノキ	葉 400 枚	研究用
12.4	藤野廣春 (富山大学薬学部付属薬用植物園)	ミロバラ	若干	展示用
19.2.4	藤本誠	エッチェウミセバヤ	1 鉢	研究用

(2) 18年度植物園協会種苗交換による分譲

年月日	分譲先	分譲植物
19.3.15	金沢大学薬学部附属薬用植物園	センボンギク 苗2株

(3) 種子交換による分譲(平成17年度カタログ)

年月日	配付先	配付種子
19.3.22	コメンスキー大学植物園(スロバキア)	タカノツメなど3種
3.22	ゲーテ大学植物園(ドイツ)	ヒメヤシャブシなど4種
3.22	Ing. CARLOS ERALIO R.RUIZ(アルゼンチン)	オガラバナなど9種
3.22	ロシア科学アカデミーヤクーツク支部植物園(ロシア)	ウリハダカエデなど4種
3.22	ブザンソン大学植物園(フランス)	ヤマモミジなど21種
3.22	ハンガリー科学アカデミー生態 ・植物学研究所植物園(ハンガリー)	ウダイカンバなど12種
3.22	リヨン植物園(フランス)	イケマなど13種
3.22	ラトビア国立樹木園(ラトビア)	トウカエデなど18種
3.22	ラトビア大学植物園(ラトビア)	バイカウツギなど2種
3.22	ボゴール植物園(インドネシア)	ヒトツバタゴなど5種
3.22	ロシア科学アカデミー極東支部植物園(ロシア)	タニウツギなど3種
3.22	コペンハーゲン大学植物園(デンマーク)	ソバナなど6種
3.22	ベルベデーレ高山植物園(オーストリア)	オキナグサ1種
3.22	ターリン植物園(エストニア)	リョウブなど11種
3.22	Mr. Stig Froberg, Fortum Oy(フィンランド)	ヨツバヒヨドリなど19種

III 教育普及事業

1. 平成 18 年度催事記録

(1) 特別開園 (*は無料開園)

催事名称	開催日時	開催場所	入園者数
ソメイヨシノと夜桜観賞*	4月12(水)～15(土) 9:00～21:00	屋外展示園	22,772
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	7月30(日)、31(月) 19:00～21:30	サンライトホール	1,323
夜間開園「夜の温室植物」	8月13(日)～14(月) 19:00～21:30	展示温室	416
クリスマスフェスタ	12月15(金)、16(土) 9:00～20:00	サンライトホール	589

(2) 企画展示 開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00～17:00 (11月～1月は16:30まで)

催事名称	開催日	内容
企画展 —植物園で楽しむ— 日本列島の桜旅	4/1～5/1	園内にある桜のうち、全国各地で有名な、珍しい桜20種類をパネルや写真で紹介した。
第27回 野生ラン展	5/3～5/5	富山県蘭協会と共催で、ランの野生種と園芸品種約250点を展示し、即売も行った。
バラとバラ図譜展	5/19～5/31	富山県バラ会の協力でバラの切り花、鉢物と植物園所蔵の二口善雄画伯のバラの植物画を展示した。
地元愛好会 さつき展	6/2～6/4	寿さつき会と共催で、美しい花を咲かせるサツキを展示した。
私の植物写真展	6/23～7/19	植物園の講習会と一般から募集した植物の写真を展示した。
特別展 食虫植物展	7/21～8/2	ハエトリソウやウツボカズラの仲間など食虫植物を展示した。
特別展 ニライカナイの染織と食 —琉球列島の植物の恵み—	8/4～9/6	琉球列島の文化の中で、特に植物と関係の深い染色と織物、植物食材を紹介した。
小中学生夏休み作品展	9/8～10/18	夏休み中の地域子ども教室行事で作った作品と、自由研究の作品を展示した。
菊展	10/20～11/15	園芸菊の様々な品種を鉢植えと切り花で展示した。
干支にちなんだ植物展	12/8～1/31	平成19年の干支「亥」と18年の干支「戌」にちなんだ植物を実物や標本、写真などで紹介した。
平成18年度研究紹介展	2/2～2/28	植物園の職員が行っている研究を写真や標本などのパネル展示で紹介した。
第35回蘭まつり大会	3/2～3/4	富山県蘭協会と共催で洋ランなどを展示し、ランの栽培講習会や即売を実施。
私の植物画展	3/6～3/28	一般から公募した植物画(ボダニカルアート)作品を展示した。

(3) 講座・講習・講演会

催事名	講師など	開催日時	開催場所	参加者
講演会 「日本列島の桜旅」	大原隆明 (植物園職員)	4/23(日) 13:00～15:00	ドリアス ホール	23
みどりの日 植物園ガイド	植物園職員	4/29(土) 10:00,13:00,15:00	園内	45
春のガーデニング相談会	植物園職員	4/30(日) 13:00～15:00	研修室	12
園芸講習会 「ランの植え替えと管理」	富山県蘭協会会員	5/3(水), 4(木) 13:00～15:00	ドリアス ホール	100
デジカメ教室 「花を撮ろう」	富山県 IT センター	5/14(日) 10:00～15:00	園内	64
第 26 回植物画講習会	豊田路子 岡田宗男	5/20(土)、21(日) 10:00～16:00	研修室	46
植物写真教室 「やさしい花の撮り方」	富山県写真家協会	5/28(日) 13:00～16:00	研修室 ・園内	44
植物園ボランティア基礎講座	植物園職員	全て 13:00～15:00 に開催		
1. 「植物園の歴史と役割」		6/11(日)	研修室	26
2. 「珍しい植物の収集と栽培の方法」		10/9(日)	研修室	26
3. 「植物園と学校教育・生涯学習」		12/3(日)	研修室	19
4. 「植物の名前について」		1/7(日)	研修室	22
5. 「植物園の研究活動と県の自然環境の保全」		2/25(日)	研修室	25
夏のガーデニング相談会	植物園職員	7/16(日) 13:00～15:00	実習室	12
デジカメ親子教室 「花を撮ろう」	富山県 IT センター	7/22(土) 10:00～15:00	園内	32
植物染め講習会	植物園職員	8/5(土) 10:00～16:00	実習室	24
第 14 回 TOYAMA 植物フォーラム 「琉球列島の植物文化」	兼本正 (植物園職員) 池原直樹 (元高校教諭)	8/6(日) 13:00～16:00	研修室	27
琉球の食材植物とその料理	黒田佳弘 (南国酒房チャンプル)	8/20(日) 13:00～15:00	実習室	22
第 27 回植物画講習会	豊田路子 岡田宗男	9/30(土)、10/1(日) 10:00～16:00	研修室	33
秋のガーデニング相談会	植物園職員	10/22(日) 13:00～15:00	実習室	10
園芸講習会 「菊づくり 12ヶ月」	村井外世 (富山市婦中町菊花会)	10/29(日) 13:00～15:00	ドリアス ホール	15
冬のガーデニング相談会	植物園職員	12/17(日) 13:00～15:00	実習室	11
電子顕微鏡で植物観察をしよう	植物園職員	1/21(日) 13:00～15:00	電子顕微鏡室	10
平成 18 年度研究発表会	植物園職員	2/4(日) 13:00～16:00	研修室	38
デジカメ教室 「花を撮ろう」	富山県 IT センター	2/28(水) 10:00～15:00	園内	32

(4) 月例行事

● 植物園オリエンテーリング (7 回)

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策 (開催時間: 10:30 ~ 12:30)

開催日: 毎月第 3 日曜日 (4 月 ~ 10 月)

参加者: 約 151 名 (これ以外に 16 団体がオリエンテーリングを実施し、1,523 名が参加した)

● 日曜植物案内 (12 回)

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員とボランティアが解説 (開催時間: 11:00 ~ 12:00)

開催日: 4/2 (日)、5/7 (日)、6/4 (日)、7/2 (日)、8/6 (日)、9/3 (日)、10/1 (日)、11/5 (日)、
12/3 (日)、1/7 (日)、2/7 (日)、3/18 (日)

参加者: 216 名

(5) 第 3 回 ドリアスコンサート「琉球音楽と琉球舞踊」

8 月 27 日 (日)

出演: 富山沖縄県人会 (かりゆし会) 17 名、上運天有二、饒平名治 (Jing Jing)

参加者: 120 名

(6) ドリアス講座

年月日	団体名	人数
18.4.17	VITA 生きがいづくり推進コーディネーター富山 A 班	34
4.25	畑直しらすぎ会	25
4.28	小矢部市立津沢中学校一年生	4
5.12	富山赤十字看護学校	38
5.16	総合衛生学院	41
5.17	上関保育園	38
5.29	富山市立奥田小学校	102
7.14	富山市民大学	71
7.18	射水市立大門中学校	30
7.25	上原地区福寿会連絡協議会	50
8.25	社団法人富山県児童クラブ連合会	55
8.8	高岡市中文連科学専門部会	47
9.6	立山町釜ヶ淵保育所	84
9.8	砺波市立庄川小学校	69
10.25	県政バス	11
11.7	富山市立鶴坂小学校	113
11.27	滑川市南部小学校	52
19.3.9	さみどり幼稚園	50
3.16	富山県立小矢部園芸高等学校卒業生	10
	合計	924

(7) 平成 18 年度理数大好きモデル地域事業

年月日	団体名	内容	人数
18.5.26	黒部市立三日市小学校 3 年生	オリエンテーリング	59
5.26	射水市立片口小学校 3 年生	オリエンテーリング	61
9.8	砺波市立庄川小学校 5 年生	花の作りと種子の学習、園内見学	69
9.15	高岡市立能町小学校 3 年生	どんぐり講義と工作、オリエンテーリング	116
9.29	上市町立上市中央小学校 4 年生	オリエンテーリング、工作など	89
10.17	黒部市立三日市小学校 1 年生	どんぐり工作	57
10.4	上市町立白萩西部小学校全校	オリエンテーリング	52
11.10	射水市立中太閤山小学校 1 年生	どんぐり工作	65

(8) 平成 18 年度地域子ども教室推進事業

年月日	行事名	参加人数		
18.4.22	植物園で桜を探そう	12	10.28	かぼちゃのチョウチンづくり 36
4.23	植物園で桜を探そう	7	10.29	かぼちゃのチョウチンづくり 31
4.3	春の草花遊び	10	11.4	どんぐりで遊ぼう 32
5.5	春の草花遊び	13	11.5	どんぐりで遊ぼう 47
5.7	春の草花遊び	11	11.12	植物バイオの実験 11
5.13	熱帯の植物を育てよう	12	11.18	落ち葉で遊ぼう 31
5.14	熱帯の植物を育てよう	3	11.19	落ち葉で遊ぼう 23
6.1	植物バイオの実験	9	12.2	クリスマス飾りを作ろう 40
6.24	草木染めをしよう	5	12.9	クリスマス飾りを作ろう 37
7.15	草木染めをしよう	13	12.16	クリスマス飾りを作ろう 31
7.23	食虫植物を育てよう	33	12.17	クリスマス飾りを作ろう 38
7.29	食虫植物を育てよう	33	19.1.8	顕微鏡で植物を観察しよう 19
7.3	夏休み植物教室	19	1.13	顕微鏡で植物を観察しよう 4
7.31	夏休み植物教室	22	1.2	電子顕微鏡で植物を観察しよう 11
8.1	夏休み植物教室	20	1.28	電子顕微鏡で植物を観察しよう 18
8.12	ソテツの虫かごづくり	21	2.3	植物バイオの実験 13
8.13	ソテツの虫かごづくり	3	2.1	冬の草花遊び 7
8.19	顕微鏡で植物を観察しよう	18	2.11	冬の草花遊び 24
8.26	顕微鏡で植物を観察しよう	16	2.24	冬の草花遊び 12
9.23	秋の草花あそび	33	2.25	冬の草花遊び 14
9.24	秋の草花あそび	29	3.1	電子顕微鏡で植物を観察しよう 13
10.7	植物園できのこを探そう	27	3.18	電子顕微鏡で植物を観察しよう 18
10.8	どんぐりで遊ぼう	53	3.24	熱帯の果物を育てよう 32
10.15	どんぐりで遊ぼう	41	3.25	熱帯の果物を育てよう 20
			合計	1,025

2. 平成 18 年度印刷・出版

(1) 「植物園だより」の発行

● 2006 年 7 月号 (No.40)

表紙ハス / 特別展「食虫植物展」 / 特別展「ニライカナイの染織と食」 / 活動報告 (4～6 月) / 研究紹介 (主任 吉田めぐみ) / 植物園トピックス / 催し物のご案内

● 2006 年 10 月号 (No.41)

表紙フヨウ / 「小中学生夏休み作品展」 / 「菊展」 / 植物園トピックス / 活動報告 (6～8 月) / 研究紹介 (主任 高橋一臣) / 催し物のご案内

● 2007 年 1 月号 (No.42)

表紙モウソウチク / 「干支にちなんだ植物展」 / 「平成 18 年度研究紹介展」 / 「第 35 回富山県蘭まつり大会」 / 植物園トピックス / 活動報告 (9～11 月) 富山県中央植物園地域子ども教室推進事業 / 研究紹介 (主任 大宮 徹) / 催し物のご案内

● 2007 年 4 月号 (No.43)

表紙ソメイヨシノ / 「日本の桜「ソメイヨシノ」」 / 「第 28 回春のラン展」 / 「二口善雄画伯『原色図譜 園芸植物』原画展」 / 植物園トピックス / 活動報告 (1～3 月) / 研究紹介 (主任 大宮 徹) / 催し物のご案内

(2) 「事業概要」第 8 号 (平成 17 年度) (A4 判・27 頁、平成 18 年 8 月 31 日発行)

(3) 「富山県中央植物園リーフレット」の発行 (B4 変形判 4 ッ折り)

(4) 平成 18 年度地域子ども教室推進事業実施報告書 (平成 19 年 3 月 27 日発行)

(5) 「アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究」

—平成 18 年度 (財) 国際花と緑の博覧会記念協会助成事業報告書— (平成 19 年 3 月 30 日発行)

3. 平成 18 年度新聞・雑誌等への寄稿

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
18.7	万華鏡	植物園へ行こう	神戸敏成
18.7	万華鏡	富山の桜考	大原隆明
18.7	FRONT No.214	竹酢液を暮らしに活かす	内村悦三
18.11	Bamboo Voice No.26	温室内での <i>Dendrocalamus giganteus</i> の生育	内村悦三
19.2	石川きのこ会会報 「こけとみみ」	石川県産 <i>Tulostoma</i> 属きのこについて	橋屋 誠
19.3	月刊 加工技術	竹の有効活用を展開する	内村悦三

4. 平成 18 年度新聞記事

年月	内容	件数
18.4	企画展「植物園で楽しむ日本列島の桜旅」、ミツマタ開花、夜桜観賞など	22
5	野生ラン展、中国ボタン見ごろ、園内挙式、青いラン開花など	40
6	サツキ展、スイレンの花見ごろ、ブルビフェル初開花、雲南省議員団来園など	27
7	アーティチョーク見ごろ、ハンゲショウ開花、月下美人開花など	18
8	企画展「ニライカナイの染織と食 - 琉球列島の植物の恵み -」など	23
9	リュウキュウイトバショウ見ごろ、コクチョウ二羽飛来など	24
10	コンテナガーデンコンテスト審査、菊展、ジュウガツザクラ開花など	17
11	オオシマノジギク満開、ベンガルヤハズカズラ見ごろ、コブクザクラ満開など	19
12	大きなドイツトウヒツリー展示、干支にちなんだ植物展など	20
19.1	ヒオウギ県内自生、ススヤアカバナ国内初確認、ブッシュカン見ごろなど	28
2	研究紹介展、フクジュソウ開花、バンダ見ごろ、プリンセス・キコ展示など	27
3	県蘭まつり大会、私の植物画展、新品種「コシノフユザクラ」発見など	41

5. 平成 18 年度 北陸中日新聞動物園植物園レポート

年月日	掲載テーマ	執筆者
18.4.15	今年の桜「松前紅玉錦」	大原隆明
4.29	ハンカチノキ	中田政司
5.20	ボタンとシャクヤク	中田政司
16.3	エーデルワイス	橋屋 誠
6.17	クレマチス	吉田めぐみ
7.1	アーティチョーク	志内利明
7.15	唐木	大宮 徹
7.29	食虫植物	兼本 正
8.12	イトバショウ	山下寿之
8.26	ポンテデリア	高橋一臣
9.9	アーモンド	大原隆明
9.23	コウヤマキ	神戸敏成
10.7	ヒガンバナ	神戸敏成
10.21	サツマノギク	中田政司
11.4	ジュウガツザクラ	吉田めぐみ
11.18	パパイア	志内利明
12.2	ユチャ	大宮 徹
12.16	イノシシにちなむ植物	高橋一臣
19.1.6	正月飾りの植物	山下寿之
1.20	レモン	大原隆明
2.3	報春花	中田政司
2.17	早咲きのウメ	山下寿之
3.3	今が旬「ラン」	神戸敏成
3.17	クモマグサ	橋屋 誠

6.平成18年度取材対応

- (1)新聞 65件
- (2)テレビ 52件
- (3)ラジオ 5件
- (4)雑誌等 1件

7.平成18年度リファレンス(質問対応)状況>(*は同定依頼の内キノコ関係の内訳)

年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
総数	140	243	334	493	624	715	780	815	769	700	779
質問方法別											
来園	65	84	118	179	258	268	301	376	364	311	374
電話	73	153	206	301	341	410	432	381	324	330	376
文書	2	6	9	13	25	37	47	58	81	59	38
質問内容別											
同定 (キノコ)*	73 (50)	79 (58)	129 (73)	181 (110)	275 (184)	330 (196)	320 (190)	379 (266)	400 (274)	344 (268)	395 (285)
園芸相談	25	73	103	159	178	208	217	186	188	188	211
その他	42	91	102	153	171	177	243	250	181	168	173
質問者業種別											
一般	127	202	266	420	528	606	676	693	680	639	691
マスコミ	11	35	59	55	67	72	74	77	48	42	65
植物関係者	2	6	9	18	29	37	30	45	41	19	23

8.公的団体等からの同定依頼

年月日	団体名	内容
18.4	富山県林業技術センター 林業試験場	林業試験場構内及び樹木園内のサクラの同定について

9.写真の提供

年月日	提供先	内容
18.9.9	(株)学宝社	「ウィンターワーク重点補充 国語」作成
19.3.31	BGCI	「植物園の日」PRポスター
18年度毎月	(株)CAP	富山経済月報ホームページの季節の植物写真

IV 資料収集事業

1. 標本資料現況(点数)

	平成3～17年度	平成18年度	点数	合計点数
購入標本	3,000		0	3,000
収集標本	30,475	職員採集県内産標本	626	3,960
		植物園友の会植物誌部会調査会収集標本	813	
		植物園友の会植物誌部会・城端ナチュラルリスト		
		研究会合同縄ヶ池調査標本	1,326	
		その他	1,195	
寄贈標本	23,205	井波へパチカの会など41件	4,663	4,663
合計	66,680		8,623	75,303

2. 文献資料現況(冊数)

(1) 単行本

		平成3～17年度	18年度	合計(冊数)
購入	洋書	940	0	940
	中国書	368	2	370
	和書	928	0	928
交換寄贈	洋書	1,264	15	1,279
	中国書	297	0	297
	和書	3,925	41	3,966
	合計	7,722	58	7,780

(2) 雑誌

		平成3～17年度	18年度	合計(冊数)
購入	洋書	3,785	136	3,785
	中国書	827	34	827
	和書	3,060	110	3,060
交換寄贈	洋書	1,791	163	1,954
	中国書	155	5	160
	和書	3,709	414	4,123
	合計	13,327	862	14,189

3. 植物画資料

年月	点数	導入先
平成7年6月	1,743点(理科図集、日本椿集原画など)	二口善雄寄贈
平成18年7月	302点(平凡社刊 原色図譜「園芸植物」原画など)	二口善雄寄贈

V 調査研究事業

1. 研究体制 (平成 18 年 4 月 1 日現在)

氏名	職	担当分野・専門分野
内村 悦三	園長	森林生態学、世界のタケ類の生態と栽培、熱帯林の修復、アグロフォレストリー・システムの構築
黒川 道	顧問	植物分類学、地衣類
中田 政司	副主幹研究員 (企画情報課長)	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	副主幹研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任	植物分類学、菌類(キノコ)、地域フロラ
吉田めぐみ	主任	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	主任	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	主任	植物分類学、ササ属
大原 隆明	主任	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	主任	植物分類学、トカラ列島フロラ、溪流沿い植物

2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

3. 平成 18 年度外部資金導入による調査研究

- ・助成名 財団法人国際花と緑の博覧会記念協会研究助成・新規
助成対象 財団法人花と緑の銀行理事長石井隆一(代表)
助成課題 アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究
- ・助成名 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 B)・継続
助成対象 神戸敏成(分担)
助成課題 本邦産難発芽性ラン科希少種の絶滅を回避するための種子繁殖法と種子貯蔵法の確立
- ・助成名 トヨタ財団研究助成「アジア隣人ネットワーク」プログラム・継続
助成対象 兼本正(分担)
助成課題 東アジア環太平洋亜熱帯・熱帯地方における植物種に関する共同研究と生物資源データベース作成を目的としたネットワークの構築

4. 研究報告 12 号 (平成 19 年 3 月 28 日発行)

- ・山下寿之: 富山県中央植物園に植栽されたボタンの開花フェノロジー (1-8).
- ・兼本 正・田村 歩・安西佐織・和田美智子: 富山県中央植物園におけるパパイアの露地栽培 (9-17).
- ・奥野 哉・中田政司・三位正洋: 古典園芸植物ツツブキー歴史と現存品種ー (19-35).
- ・奈良俊彦・下野義人・橋屋誠・広井勝: チチタケ (*Lactarius volemus*) の傘シスチジアに関する新知見 (37-40).
- ・Toshinari Godo, Hajime Okuno, Hiroyuki Saito, Yutaka Miyazaki, Hiromichi Ryuto, Nobuhisa Fukunishi & Tomoko Abe: Effects of ion beam irradiation on survival and mutation induction of triploid Senno (*Lychnis senno* Siebold et Zucc.) (重イオンビーム照射がセンノウの生存率と突然変異の誘発に及ぼす影響) (41-46).

- ・志内利明・魯元学・王仲朗・李景秀・沈雲光・馬宏・季慧・管開雲：中国雲南省と日本に共通して分布するアヤメ科植物 4 種の生育状況 (47-56).
- ・大原隆明・中央植物園友の会植物誌部会・水上成雄・中田政司：富山県フロラ資料 (11) (57-76).
- ・橋屋誠：富山県高等菌類資料 (5) (77-81).

5. 平成 18 年度研究発表「植物園を支える研究活動 (8)」(発表順)平成 19 年 2 月 5 日

- ・中田政司：「財団法人花と緑の博覧会記念協会助成事業『アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究』の概要
- ・山下寿之：富山県内のアヤメ科植物の分布と植生
- ・高橋一臣：頼成の森水生植物園のハナショウブ品種のデータベース化
- ・中田政司：富山県産アヤメ科植物の染色体数
—野生アヤメ属、ヒオウギおよび頼成の森水生植物園栽培のハナショウブ園芸品種について
- ・志内利明：中国雲南省と日本に共通して分布するアヤメ科植物 4 種の生育状況
- ・大宮 徹：中国雲南省産アヤメ属植物の地下茎について
- ・大原隆明・橋屋 誠：南砺市縄ヶ池のフロラ調査
- ・橋屋 誠：富山県で記録されたきのこ (11)
- ・吉田めぐみ：富山県における高山帯域の植生分布について
- ・神戸敏成：富山県産絶滅危惧植物サルメンエビネの種子発芽に及ぼす諸要因
- ・兼本 正：台湾ハンノキ林の構造

6. 著書・論文・学会発表等

中田政司

- ・ Karyotype Analysis in *Lychnis senno* and its Related Species (Caryophyllaceae). 第 27 回国際園芸学会発表. (2006). (共同発表).
- ・ 古典園芸植物ツワブキの特性評価と保全、育種に関する研究 1. ツワブキ野生株の細胞遺伝学的研究. 染色体学会第 57 回年会口頭発表. (2006). (共同発表).
- ・ Long-term Embryogenic Callus Cultures as a Source of Tetraploid Plants in the Liliaceous Ornamental *Tricyrtis hirta*. 第 27 回国際園芸学会発表. (2006). (共同発表).
- ・ Somaclonal variation in *Tricyrtis hirta* plants regenerated from 1-year-old embryogenic callus cultures. *Scientia Horticulturae*. 110: 366-371. (2006). (共同発表).
- ・ カラフトエンピセンノウとツクシマツモト間の種間交雑 (*Lychnis* 'Karafutoenbisenno' × *L. sieboldii*) による雑種作出およびその形質調査. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (2007). (共同発表).
- ・ 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生. 富山県生物学会発表. (2007). (共同発表).
- ・ 富山県産ラン科植物の記録. 富山の生物 46: 63-64. (2007).
- ・ 3 倍体センノウを用いた種間雑種の作出. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (2007). (共同発表).
- ・ 古典園芸植物ツワブキの特性評価と保全、育種に関する研究 (第 2 報) ツワブキ園芸品種の人為分類と核 DNA 量. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (2007). (共同発表).
- ・ 古典園芸植物ツワブキの特性評価と保全、育種に関する研究 (第 3 報) ツワブキ園芸品種の細胞遺伝学的研究. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (2007). (共同発表).

大宮 徹

- ・ 中国雲南省マメ科ナツフジ属植物果実の表面構造. 日本植物学会第 70 回大会 (熊本). (2006).

山下寿之

- ・ 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生. 富山県生物学会発表. (2007). (共同発表).
- ・ 山下寿之・中田政司・神戸敏成・橋屋誠・大原隆明・李宏哲. 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生. 植生学会第 11 回大会発表. (2007). (共同発表).

神戸敏成

- ・ 絶滅危惧植物サルメンエビネの完熟種子の発芽に及ぼす諸要因. 園芸学会平成 18 年度秋季大会発表. (2006). (共同発表).
- ・ Comparison of Response in Tissue Culture of *Begonia* Native to Yunnan, China. 第 27 回国際園芸学会発表

表 . (2006). (共同発表).

- Karyotype Analysis in *Lychnis senno* and its Related Species (Caryophyllaceae). 第 27 回国際園芸学会発表 . (2006). (共同発表).
- Long-term Embryogenic Callus Cultures as a Source of Tetraploid Plants in the Liliaceous Ornamental *Tricyrtis hirta*. 第 27 回国際園芸学会発表 . (2006). (共同発表).
- Somaclonal variation in *Tricyrtis hirta* plants regenerated from 1-year-old embryogenic callus cultures. *Scientia Horticulturae*. 110: 366-371. (2006). (共同発表).
- カラフトエンビセンノウとツクシマツモト間の種間交雑 (*Lychnis* 'Karafutoenbisenno' × *L. sieboldii*) による雑種作出およびその形質調査 . 園芸学会平成 19 年度春季大会発表 . (2007). (共同発表).
- 3 倍体センノウを用いた種間雑種の作出 . 園芸学会平成 19 年度春季大会発表 . (2007). (共同発表).
- ラン科希少種エビネ属タガネランの非共生培養法による完熟種子の発芽とプロトコーム形成 . 園芸学会平成 19 年度春季大会発表 . (2007). (共同発表).
- The factors stimulating mature seed germination of *Calanthe tricarinata* Lindl., a Japanese endangered orchid. 第 9 回アジア太平洋ラン会議発表 . (2007). (共同発表).
- 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生 . 富山県生物学会発表 . (2007). (共同発表).
- 日本産希少植物の繁殖及び長期保存 . 日本の植物園における生物多様性保全 . 学術図書印刷株式会社 . (2007). (分担執筆、共著).
- 「種の保存法」と植物園活動 . 日本の植物園における生物多様性保全 . 学術図書印刷株式会社 . (2007). (分担執筆).
- 全国の植物園の生物多様性の保全への取り組み —富山県中央植物園—. 日本の植物園における生物多様性保全 . 学術図書印刷株式会社 . (2007). (分担執筆).

橋屋 誠

- 縄ヶ池周辺の維管束植物および高等菌類のフロラ調査 . 平成 18 年度富山県生物学会研究発表会 . (2006). (共同発表).
- *Lactarius ochrogalactus*, a new species of genus *Lactarius* (Russulaceae, Russulales) with yellow-brown latex. *Mycoscience* 47: 232-234. (2006). (共著).
- 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生 . 富山県生物学会発表 . (2007). (共同発表).

兼本 正

- 琉球列島の絶滅危惧植物 I —沖縄県産絶滅危惧植物の現状—. 日本の植物園における生物多様性保全 . 学術図書印刷株式会社 . (2007). (分担執筆、共著)
- 琉球列島の絶滅危惧植物 II —保全学的研究の実例—. 日本の植物園における生物多様性保全 . 学術図書印刷株式会社 . (2007). (分担執筆).
- 琉球列島の絶滅危惧植物 III 何をすべきか—植物園を中心に—. 日本の植物園における生物多様性保全 . 学術図書印刷株式会社 . (2007). (分担執筆、共著).

高橋一臣

- 中部地方におけるチマキザサ、ミヤコザサ、アマギザサ節植物の形態の比較 . 日本植物分類学会第 6 回大会 . (2007).

大原隆明

- ススヤアカバナ *Epilobium parviflorum* を日本のフロラに追加する . 植物地理分類 54: 74-77. (2006). (共同発表).
- 縄ヶ池周辺の維管束植物および高等菌類のフロラ調査 . 平成 18 年度富山県生物学会研究発表会 . (2006). (共同発表).
- 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生 . 富山県生物学会発表 . (2007). (共同発表).
- 富山県東部で見出された冬咲き性のサクラの—新品種—. 第 1 回日本櫻学会 . (2007).

志内利明

- 中国雲南省漾濞に生育するシャガとイチハツの生育環境の相違 . 植物地理・分類研究 54(2): 151-153. (2007). (共著).

7. アヤメ科植物遺伝子資源保全のための日中共同研究

—平成 18 年度（財）国際花と緑の博覧会記念協会助成事業報告書—

- ・大原隆明：富山県で過去に採集されたアヤメ属およびヒオウギ属植物の標本調査 (1-6).
- ・山下寿之・中田政司・神戸敏成・大原隆明・橋屋 誠・李 宏哲：富山県内のアヤメ科植物の分布と群落の種類組成 (7-16).
- ・李 宏哲・中田政司：富山県産アヤメ科植物の染色体数 (17-18).
- ・高橋一臣・志内利明・吉田めぐみ・橋屋 誠：県民公園頼成の森水生植物園のハナショウブ品種および富山県中央植物園で栽培されているアヤメ科植物の画像データベース化 (19-26).
- ・中田政司・高橋一臣・李 宏哲：富山県産頼成の森水生植物園植栽のハナショウブ品種の染色体数 (27-28).
- ・神戸敏成・志内利明：中国雲南省におけるアヤメ科 Iridaceae の植物 (29-34).
- ・志内利明・魯元学・王仲朗・李景秀・沈雲光・馬宏・季慧：中国雲南省と日本に共通して分布するアヤメ科植物 4 種の雲南省における生育状況 (35-43).
- ・志内利明・李景秀・馬宏：雲南省産アヤメ属植物の種子散布様式の多様性 (44-47).
- ・李 宏哲・橋屋 誠：中国産アヤメ科植物の葉の表面の微細構造 (48-49).
- ・大宮 徹・沈雲光：中国雲南省産アヤメ属植物の根茎について (50-51).
- ・神戸敏成：中国雲南省産アヤメ属植物の組織培養による増殖・保存・育種に関する研究 (52-53).

VI 友の会・ボランティアの活動

1. 事業

(1) 講演会・講習会

内容	開催日	参加者数
種苗交換会	4月30日(日)	14
クレマチスの栽培講習と種苗交換会 講師：越野淳一(中央植物園友の会ボランティア)	6月25日(日)	21
パパイア料理研究会 講師：兼本 正(中央植物園)	9月10日(日)	8
友の会植物画講習会 講師：豊田路子(フェアリーリングの会)	10月21日(土)-22日(日)	50
種苗交換会	10月22日(日)	9
話題の植物収穫祭	11月19日(日)	4
中央植物園客員研究員講義の聴講		
只木良也(プレック研究所生態研究センター所長)	11月15日(水)・16日(木)	32
勝山輝男(神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員)	12月12日(火)・13日(水)	27
長澤栄史(菌茸研究所上席主任研究員)	1月23日(火)・24日(水)	38
クリスマスリース作り 講師：増山たか子(中央植物園友の会ボランティア)	12月10日(日)	29
種苗交換会	12月17日(日)	11

(2) 植物観察会

催事名	開催場所	開催日	参加数
瀋陽園芸博ツアー	中国遼寧省	7月14日(日)～17日(月)	8
野外観察会「きのこを通して森を見る」	富山市古洞の森	10月22日(日)	18
沖縄植物ツアー	沖縄島	1月21日(日)～23(火)	32

(3) その他

内容	開催場所	開催日	参加数
第12回理事会	中央植物園	4月12日(水)	—
第13回理事会	中央植物園	3月11日(日)	—
友の会のつどい	中央植物園	3月11日(日)	50

2. 部会の活動

(1) 植物画部会(登録者数87名：平成19年3月31日現在)

例会(場所：中央植物園)

4月16日(日)：24名	8月20日(日)：22名	12月17日(日)：23名
5月14日(日)：19名	9月17日(日)：26名	1月14日(日)：20名
6月18日(日)：30名	10月15日(日)：28名	2月18日(日)：29名
7月16日(日)：25名	11月19日(日)：25名	3月25日(日)：28名

- ・ボタニカルアート展 県民会館ギャラリーA 9月15日(金)・18日(月)
- ・友の会植物画講習会 中央植物園 10月21日(土)・22日(日)

(2) きのか部会 (登録者数 98 名：平成 19 年 3 月 31 日現在)

開催日	場所	内容	参加数
18.6.11	中央植物園	顕微鏡講座	6
6.18	中央植物園	顕微鏡講座	8
7.16	南砺市井波	きのか観察会	17
7.23	富山市三熊古洞の森	きのか観察会	20
9.10	富山市有峰	きのか観察会	24
10.1	南砺市安居寺	きのか観察会	30
11.5	立山町樹木園	きのか観察会	36
19.1.27	中央植物園	スライド学習会	30

(3) 植物誌部会 (登録者数 35 名：平成 19 年 3 月 31 日現在)

開催日	場所	内容	参加数
17.4.24	墓の木自然公園 (入善町)	定例調査会	11
5.22	婦中町自然公園 (富山市)	定例調査会	15
6.26	嘉例沢森林公園・鋺ヶ岳 (黒部市)	定例調査会	8
7.24	国立立山少年自然の家 (立山町)	定例調査会	11
8.28	富山県中央植物園内	標本同定会	15
9.25	県民公園頼成の森 (砺波市)	定例調査会	10
10.23	県民公園頼成の森 (砺波市)	定例調査会	13
11.27	富山県中央植物園内	標本同定会	12
12.25	富山市内	納会	9
18.1.22	富山県中央植物園内	標本同定会	11
2.26	富山県中央植物園内	標本同定会	13
3.26	九殿浜 (氷見市)	定例調査会	12

(4) ボランティア部会 (登録者数 45 名：平成 19 年 3 月 31 日現在)

活動内容	補助のべ回数	補助のべ人数
案内所 (インフォメーション)		
入園者への案内等	53	64
教育普及事業の補助		
植物園オリエンテーリング	7	43
日曜植物案内	12	26
夜間開園「ゲッカビジン観賞」	2	7
夜間開園「夜の温室植物」	2	11
「植物園クラブ」	23	34
調査研究事業の補助		
標本添付作業	71	133
友の会活動の補助		
会報の編集	4	4
植物の栽培管理の補助		
話題の植物エリア	30	50
クレマチス園	14	20
植物写真記録	55	55

3. 会員数 (平成 18 年 12 月 31 日現在)

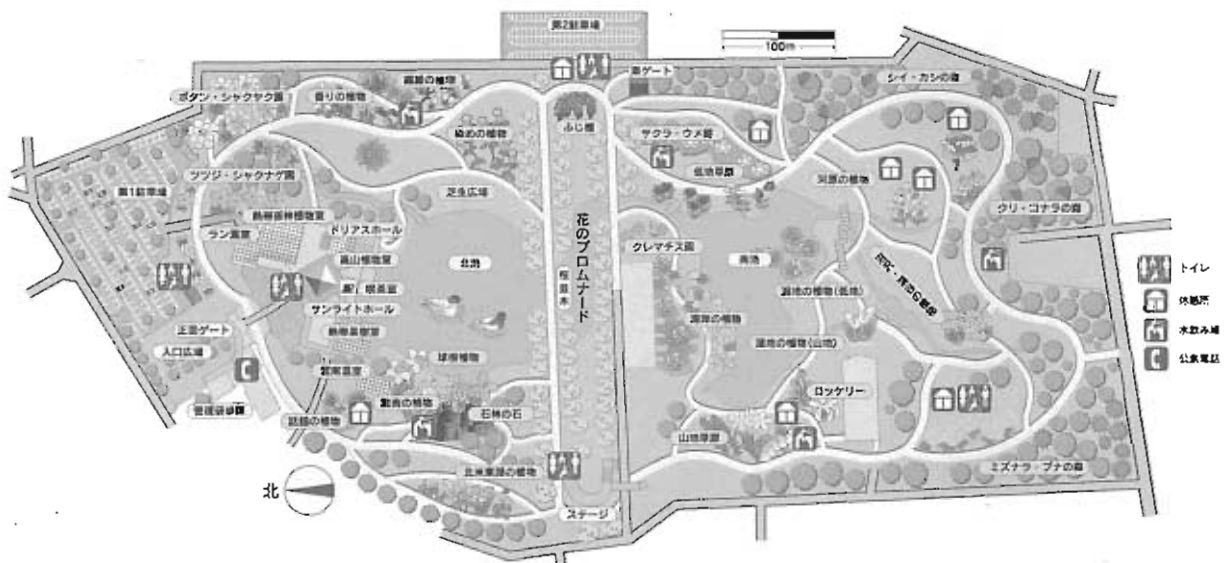
一般会員	805 名
賛助会員	29 名 (30 口)
特別会員	2 名
計	836 名

VII 参考資料

1. 施設概要

施設	着工～完成	面積 (㎡)	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路 5,400m。
管理研修棟	4.8～6.3	1,139	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、標本室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4.8～5.1	171	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室 (5 棟)	第 1 期 4.8～5.1 第 2 期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	332 台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150 台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ 393	5 棟
サンライトホール	5.8～6.8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ
エネルギー棟	5.8～6.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室 (5 棟)	第 1 期 5.8～7.1 第 2 期 6.7～7.6 第 3 期 7.3～8.3 第 4 期 10.10～12.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室 890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300 雲南温室 (温) 313 (温冷) 223	
正面ゲート	7.3～7.9	171	
雲南コーナー	7.9～8.3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.9～8.3		
東ゲート	7.12～8.3	27	
ドリアスホール	14.9～15.3	155	休憩室、図書閲覧

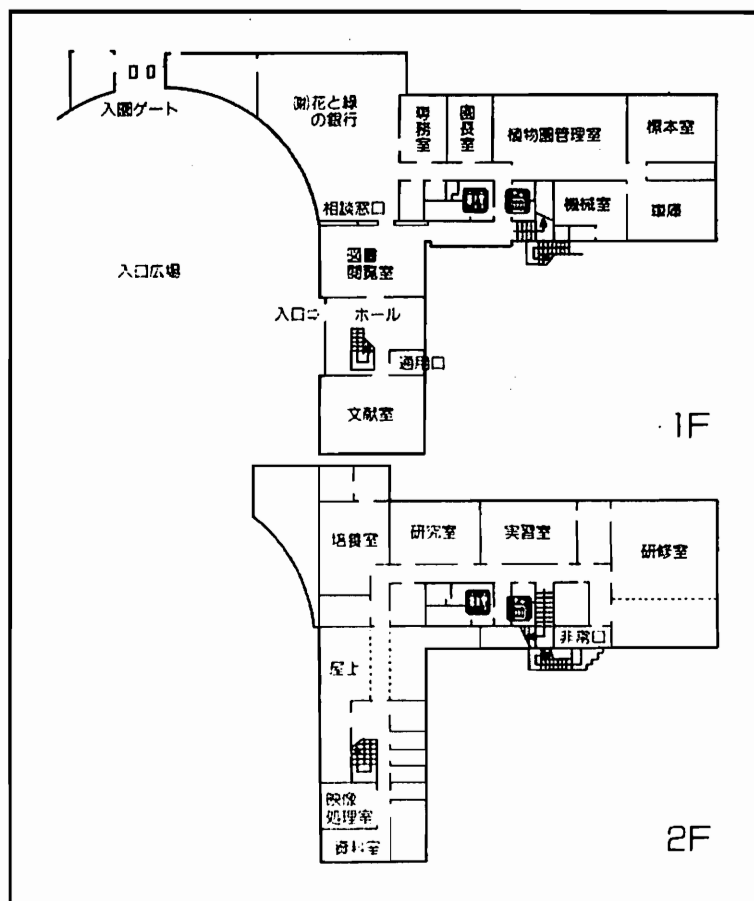
2. 施設平面図



植物園平面図



サンライトホール・温室平面図



管理研修棟平面図

3. 整備事業費

単位：百万円

区分	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	小計	H10~11	H14	小計	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297				297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092				2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666				666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828	* 204	** 40	244	4,072
備品			2	92	13		74	181				181
用地取得		977	959	32			74	2,039				2,039
雲南植物					10	3	10	23				23
石林の石						11	105	116				116
合計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242	204	40	244	9,486

*雲南温室、**多目的小ホール(ドリアスホール)

4. 利用統計（※平成17年4月1日より高校生以下は入園料無料）

(1) 平成18年度月別入園者数（有料）

区分 (月)	個人	団体	友の会	特別観覧*		合計
				個人	団体	
4	4,177	327	319	—	—	4,823
5	6,129	503	369	—	—	7,001
6	2,736	442	244	—	—	3,422
7	1,382	554	184	942	169	3,231
8	1,168	123	114	314	26	1,745
9	1,683	575	199	—	—	2,457
10	1,746	429	231	—	—	2,406
11	1,268	395	145	—	—	1,808
12	616	73	183	125	23	1,020
1	1,286	30	237	—	—	1,553
2	1,920	93	289	—	—	2,302
3	7,351	343	497	—	—	8,191
合計	31,462	3,887	3,011	1,381	218	39,959

* ゲッカビジン観賞（平成18.7.30～7.31）、夜間開園「夜の温室植物」（平成18.8.13～14）、クリスマスフェスタ（18.12.15～16）

(2) 平成18年度月別入園者数（無料）

区分 (月)	減免		小学生 中学生	乳幼児	その他	無料合計	
	一般 大学 高校	引率				大人	小人
4	19,803	330	2,107	2,534	96	20,229	4,641
5	281	423	1,342	794	480	1,184	2,136
6	224	380	404	713	139	743	1,117
7	112	123	471	386	164	399	857
8	37	76	529	229	129	242	758
9	135	278	608	564	152	565	1,172
10	56	533	1,131	1,518	105	794	2,649
11	94	230	602	450	31	355	1,052
12	51	160	256	476	87	298	732
1	69	106	257	284	21	196	541
2	95	174	240	610	134	403	850
3	288	320	391	817	658	1,266	1,208
合計	21,345	3,133	8,338	9,375	2,196	26,674	17,713

(3) 平成18年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	25,052	4,641	29,693
5	8,185	2,136	10,321
6	4,165	1,117	5,282
7	3,630	857	4,487
8	1,987	758	2,745
9	3,022	1,172	4,194
10	3,200	2,649	5,849
11	2,163	1,052	3,215
12	1,318	732	2,050
1	1,749	541	2,290
2	2,705	850	3,555
3	9,457	1,208	10,665
合計	66,633	17,713	84,346

(4) 全面開園 (平成8年) 後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
11	44,346	2,752	3,503	7,250	47,849	10,002	57,851
12	38,288	2,337	4,835	9,475	43,123	11,812	54,935
13	34,465	2,360	4,703	8,223	39,168	10,583	49,751
14	34,311	794	4,440	9,726	38,751	10,520	49,271
15	29,102	501	27,090	14,537	56,192	15,038	71,230
16	31,204	400	24,961	13,867	56,165	14,267	70,432
17	34,672	—	25,316	15,947	59,988	15,947	75,935
18	39,959	—	26,674	17,713	66,633	17,713	84,346
累計	535,213	29,494	135,997	140,959	671,210	170,453	841,663

(5) 平成18年度研修室等利用団体数 (人数)

年度	研修室			実習室 (研修室併用を含む)	ドリアスホール	合計
	第1	第2	第1+第2			
8	31 (1,064)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	—	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	—	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	—	57 (1,668)
11	20 (602)	6 (88)	27 (970)	8 (210)	—	58 (1,753)
12	26 (739)	5 (80)	7 (319)	5 (76)	—	41 (1,192)
13	23 (620)	11 (143)	12 (630)	5 (114)	—	48 (1,507)
14	10 (179)	4 (43)	7 (337)	1 (9)	—	22 (568)
15	3 (79)	7 (82)	1 (78)	1 (70)	69 (4,103)	81 (4,412)
16	10 (206)	4 (76)	1 (70)	1 (15)	118 (5,094)	134 (5,461)
17	5 (76)	10 (126)	5 (271)	0	89 (3,825)	109 (4,298)
18	16 (509)	13 (162)	3 (94)	5 (171)	121 (5,920)	158 (6,856)

※ドリアスホールは平成15年3月に完成。

(6) ホームページ開設後のアクセス件数 (ホームページ開設:平成12年9月24日)

年度	アクセス件数
平成13年度	8,520
平成14年度	11,282
平成15年度	15,365
平成16年度	18,012
平成17年度	25,676
平成18年度	28,326

5. 例規 (平成 18 年 3 月 31 日現在)

● 富山県植物公園条例 (抜粋)

公布 平成 5 年 9 月 30 日 富山県条例第 54 号
改正 平成 8 年 3 月 27 日 富山県条例第 14 号
平成 9 年 3 月 26 日 富山県条例第 3 号
平成 17 年 3 月 25 日 富山県条例第 66 号

(目的)

第 1 条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

(県の責務)

第 2 条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

(設置)

第 3 条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設 (以下「植物展示施設」という) と連携を図るため、富山県中央植物園 (以下「中央植物園」という。) を設置する。

(位置)

第 4 条 中央植物園は、富山市に置く。

(事業)

第 5 条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。
- (2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

(指定管理者による管理)

第 5 条の 2 知事は、地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 244 条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であって知事が指定するもの (以下「指定管理者」という。) に中央植物園の管理を行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第 5 条の 3 前条の規定により指定管理者に行わせる管理の業務は、次に掲げる業務とする。

- (1) 中央植物園の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) 第 5 条第 1 号から第 4 号までに掲げる事業に関する業務
- (3) 第 8 条第 1 項の規定による使用の承認に関する業務
- (4) 第 10 条第 1 項に規定する使用料の徴収に関する業務
- (5) その他中央植物園の管理に関して知事が必要と認める業務

(休園日)

第 5 条の 4 中央植物園の休園日は、次に掲げる日とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、休園日以外の日休園し、又は休園日に開園することができる。

- (1) 木曜日 (その日が国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日となる場合を除く。)
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

(開園時間)

第 5 条の 5 中央植物園の開園時間は、午前 9 時から午後 5 時まで (1 月 5 日から同月 31 日まで及び 11 月 1 日から 12 月 27 日までの期間にあっては、午前 9 時から午後 4 時 30 分まで) とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを臨時に変更す

ることができる。

(入園の拒否及び制限)

第6条 指定管理者は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

(1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。

(2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料(次条第1項において「施設等」という。)を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

(遵守事項等)

第7条 中央植物園に入園したもの(以下この条において「入園者」という。)は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。

(2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。

(3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。

(4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

(専用使用の承認)

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

(使用料)

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者(第13条において「専用使用者」という。)は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料(以下「使用料」という。)は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 平成17年3月25日の改正のうち、指定管理者制度に係る部分は平成18年4月1日施行。
別表(第8条、第9条関係)

1 入園料

区分	単位	金額	
		個人	20人以上の団体
一般及び大学の学生	1人1回につき	600円	480円

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

備考

- 1 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 2 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

● 富山県植物公園条例施行規則(抜粋)

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

改正 平成14年3月20日 富山県規則第8号

平成18年3月31日 富山県規則第51号

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県植物公園条例(平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(専用使用の承認申請)

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日(次条において「専用使用日」という。)の3月前から前日までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書(様式第1号)を指定管理者に提出しなければならない。

(専用使用の変更等)

第3条 略

(原状回復及び点検)

第6条 略

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第7条 略

(細則)

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

6. 愛称とシンボルマーク

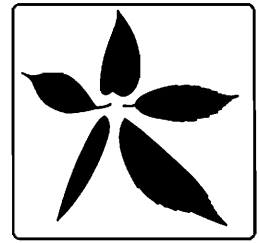
平成10年2月、公募によって決定。

愛称 = ドリアス

「ドリアス」は、ギリシャ神話に出てくる「森の精」の意味。また、富山県の立山で最初に発見されたチョウノスケソウの属名 (*Dryas*) でもある。

シンボルマーク

いろいろな植物の葉を集めて人の姿を表現したもの。見方によっては「大」の字や花の形にも見え、中央の二つの葉柄が女性の目のようにも見える。



富山県中央植物園事業概要 第9号(平成18年度)

平成19年10月31日発行

編集兼発行:富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所:財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

印刷:株式会社モトヨシ美術印刷

